

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所くくる		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 26日		～ R8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 16日		～ R8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子療育を行っており、親子で通所していただくことで子どもさんだけでなく保護者の方への支援をしやすい環境であるところ。	話しやすい雰囲気を作るよう心掛けております。また、子育ての経験を活かした助言等で保護者の方にも寄り添っていただけるよう心がけております。	保護者へのフィードバックの強化や職員の専門性の向上を行っていきたくと考えております。
2	保育士だけではなく、作業療法士が在籍しており、それぞれの強みを活かしながら、様々な視点からアプローチして支援をすることができる。	日ごろから保育士と作業療法士で意見交換をしております。また、職員間で相談しやすい関係や環境作りを心がけております。	今後も多職種で話し合いながら、よりよい活動内容の提供を行えるよう切磋琢磨していきたくとおもいます。
3	職員間の連携が取れており、チームとして支援することができる。	役割分担を行い、チームで療育を行うことを目標に日々の活動を計画しております。	役割分担を明確化し、職員1人1人が最大限力を発揮できるように体制強化を行っていきたくと考えております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所時間が長いことで、職員同士の意見交換や会議の時間が不十分であると感じることがある。	日々の活動に追われてしまっている現状がある。話し合ったことが全職員に共有できていないこともある。	定期的に話し合いが行える時間を設定し、話し合った内容を全職員が周知できるような方法を考えて行きたいと思っております。
2	事業所が大きい交差点の前に建っていること。	送迎時、子どもが車から乗り降りする際に車を入口の近くに着ける等して、安全に十分配慮している。	安全計画等の研修を定期的に行い、一人一人の安全への意識を高めていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所くくる				公表日	年 月 日	利用児童数	31	回収数	22	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	5			目が届きやすいスペースだが、人数が多いときは少し狭く感じるかもしれない。	利用人数が多い時は、部屋を分けるなど、十分なスペースを確保していくようにします。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			2	安心できる人数だと思う。職員や子どもが何人いるのか、誰が居るのかよくわかっていない。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2		3	施設内の状況をあまり見合っていないため分からない。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				運動やリズムをするには狭いような気がする。	体を大きく動かす活動の際は、人数を制限したり部屋を分けるなどして、適切な空間作りをしていきます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				連絡帳に心配事やアドバイスをもらいたい時、なるべく寄り添ってくれる。	今後も連絡ノートを有効活用していきたいと思います。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1			子どもの気持ちを考えて接したり声掛けをしてくれる。	1人1人に寄り添い、保護者の方のニーズに合わせた支援計画を作成していきます。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1			まだ7年もたっていないが変化や成長をしているので安心している。	計画を職員間で共有しながら、計画に沿った活動内容を考え、支援していきたいと思っています。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1			一番大切なことなので固定でいい。しばらくしてから固定化されないよう工夫をする方がよいと思う。	1つの目的でも、様々な角度からアプローチしていけるような活動を計画していきたいと思っています。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	3	9	くくるの友だちがたくさん増えた。土曜日の児童館だけのように思う。	図書館や公園にも出掛けております。様々な場所で交流ができるよう計画していきます。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1			しっかり丁寧な説明があり安心・信頼しています。	今後も丁寧な説明を心掛けていきたいと思っています。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				丁寧に時間をかけて読んで説明してくれました。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	3	9	面談の時間を作ってしてくれたのでよかった。	面談以外にも機会を設けられるよう、検討していきたいと思っています。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	2			連絡帳でやりとりをしているので安心している。	今後も連絡帳や送迎時で共有をはかって行きたいと思っています。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20		1	1	時間が足りず実践できていないが、声掛けは真似をしたいので教えてほしい。	6カ月に1度面談を行っております。いつでも声を掛けていただければお話しさせていただきます。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2			寄り添ってくれる。				
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	5	12	分からない。面談はある。	保護者同士の交流など、保護者の方の意見を伺いながら事業所内で話し合い、検討していこうと思います。				
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19		1	2	子どものトラブルがないので分からない。声掛けは真似をしたい。					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2			送迎時に毎回活動の様子を話してくれるので嬉しいし安心できる。	今後もしっかり連携をとっていききたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	2	1		活動カレンダー、遊びのやり方などお便りに載っているのが真似ができありがたいです。	今後も保護者の方への周知をしっかりと行っていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2		3	地震訓練はあったが、他のマニュアルの訓練があるかは分からない。	保護者の方への周知の仕方を検討していきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21			1	スタッフに慣れ保育園で見かけると必ず声をかけ寄っていくようです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	2	1		製作してきたときは家でも製作物を楽しそうに見ています。とても楽しみにしています。とては嫌がりますが、帰りは機嫌よく帰ってきます。	通所を楽しみにしてもらえるような活動内容を計画したり、職員一人一人のスキルアップを行っていききたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			人数が多いと専門的な訓練の時間が少なくなってしまいがち。4件見学して決めたので信頼しています。<くるでよかった。	満足し続けていただけるよう、精一杯頑張っていきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所くくる		公表日		年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用人数や支援内容によって部屋を分けたり、部屋の使い方を工夫して療育を行っております。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準を満たすことはもちろん、コメディカル職員を配置する等して職員配置に工夫をしております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		日課や活動内容をわかりやすく提示しています。また、活動中は視覚的刺激を減らす環境設定にしております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃を行うと共に、玩具や療育室の消毒も行っております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別の訓練や気持ちを落ち着けるために使用できるよう、個別の部屋を準備しております。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		活動会議等に非常勤職員も参加し、意見交換を行っております。また、話し合った内容を回覧して全職員に共有しております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケート回収後に会議を行い、情報の共有や改善内容の話し合いを行っております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		月に1回の職員会議や毎日の打ち合わせ・終礼の中で話し合う機会を作り、職員の意見を取り入れるようにしております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			第三者による外部評価を行いたいと思っておりますが、具体的な動きにはつながっておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		事業所内での研修はもちろん、外部主催の研修に参加する等して資質の向上に努めております。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページに掲載しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		送迎時や保護者様との面談、連絡ノートを活用して保護者様のニーズや子どもの状況の把握を行い、計画に反映しております。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		モニタリング会議で職員間で意見を出し合い計画を作成しております。また、その結果を回覧し、全職員が把握できるようにしております。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援前等打ち合わせをする時間を設け支援方法の共有を行っております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメント表を使用して発達状況を把握できるようにしております。また、カンファレンスを行い、状況確認も行っております。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて、支援計画に反映、設定しております。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		活動会議を行い、職員間で意見を出し合いながら活動プログラムを作成しております。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		5領域や季節、その時のこどもの状況に合わせてバランスを考えながらプログラム内容を作成しております。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に合わせて個別または小集団の活動と集団での活動を組み合わせる計画を作成し、支援を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		全職員で毎日打ち合わせを行い、支援内容やこどもの状況等確認して支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を行い、伝達事項やその日の支援中に感じた事等話し、共有するようにしております。	支援後に話し合った事への全職員への周知が不十分などがあるので、どう伝えていくのが今後の課題だと考えております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日報や連絡ノートの記入を全職員で行い、記録を残すことで支援の検証・改善に繋がっております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者が出席しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		送迎時に園の先生との情報共有や定期的に関係機関と連絡を取り合い連携を図っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の了承を得た上で、園の先生方と情報共有や相互理解を図る機会を設けました。	園と共通した理解の上で支援を行うことが必要であると考えております。そのために園としっかり連携を図ることが課題であると考えております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		直接学校と関わることはありませんが、保護者の方を通して伝えていただいております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		スーパーバイズや助言等を受ける機会があると支援に活かせるのではないかとおもいます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の児童館の行事に参加させていただき、地域のこどもさんと交流させていただきました。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的な面談、送迎時や毎日の連絡ノートを活用して共通理解を図っております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		親子通所の中で家族支援のプログラムや情報提供等行っております。	対象が親子通所に限られてしまうので、家族に関するプログラムや研修を検討していきたいと思っております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明を行っております。また保護者様から質問等がある場合は丁寧に説明を心がけております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画を作成する時には、保護者様と面談を行い意向を確認しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		書面を提示しながら支援計画の説明を行い、同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡ノートや送迎時に相談を伺い、必要に応じて面談や電話等でお話する機会を設けております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子通所のクラスでは保護者の交流はありますが、それ以外では保護者の交流は行っていません。保護者のニーズを確認し、必要に応じて検討していききたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談があった場合はすぐに体制を整え、迅速に対応するよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	月に1度のおたよりの発行やホームページに活動の様子を掲載することで発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今後、検討していききたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルを作成し、全職員に周知しております。また、定期的に訓練を行っております。	保護者の方にマニュアルが策定してあることはお伝えしてありますが周知には不十分と感じます。周知の方法を検討していききたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	策定した業務継続計画を回覧で全職員に周知しました。また、定期的に訓練も行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時に必要な情報をお聞きし、全職員に周知していくと共に、記録に残すようにしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者様から伺った情報をもとに対応マニュアルを作成し、掲示しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、安全計画に沿った研修や訓練等を行い、安全管理に配慮して支援を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者様への安全計画に基づく取り組み内容の周知が不十分であると感じるので、周知方法を検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットを書面に残し、回覧で全職員に周知することで共有しております。また、事例検討を行うことで再発防止に努めております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	年に一度全職員に研修を行っております。また、定期的に委員会を開催し、内容を回覧で全職員に周知しております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行ったことはありませんが、マニュアルを作成し、全職員に周知しております。	